

産学連携を活用したものづくり・アントレプレナー教育の取組事例

○林 里織（山口大学 大学研究推進機構）

1. はじめに

山口大学で、「志」イノベーション道場を常盤キャンパスに開設してから2年が経過した。「志」イノベーション道場は、学生と優れた起業家・支援者・産業人との接点・ネットワークを提供し、アイデアを創造する実践・共創を誘発する場、起業家マインドを持つ人材育成・教育を推進する場所である。本稿では、この、「志」イノベーション道場において実施している、産学連携を活用したものづくり・アントレプレナー教育に向けた取組事例について報告する。

2. 取組事例

これまでに、起業家らによるセミナー、外部講師によるアントレプレナーシップセミナー・ワークショップ、外部機関との連携によるスタートアップ企業育成プログラム、志コンテスト、部局主導のものづくり教育・語学教育など、各種取組を実施してきた。これらを通し、学生・研究者に対して、起業家・支援者・産業人をはじめとする、異分野・産業界との交流機会の増加を、大学研究推進機構の企画・運営により実現している。特に、部局主導のものづくり教育と産学連携との協同による学生のアイデア作品発表会等、学生プレゼンテーションの場において、対象の違いやその頻度により、参加者に変化等が見えてきたことから、具体的な事例を用いて報告する。

3. 今後

2年間の継続した取組により、「志」イノベーション道場の稼働率も高まり、学内外での認知度は少しずつ上がってきた。また、WEBサイトのリニューアルを実施し、情報を一元管理した上で、情報発信内容も充実させた。一方、アントレプレナー教育という自発的・能動的な行動を期待する取組であっても、正課科目との連動がない、単位等に直接結びつかない、休日、といった取組に対しては、消極的な学生がまだ多い。今後も、特に各部局の理解・協力を得ることが重要である。現在、「志」イノベーション道場をハブとした、地域のイノベーション人材育成システムを構築すべく、自治体や金融機関等、外部機関との連携プロジェクトも多数実施している。今後は、道場内デジタル工作工房を活用し、地域企業や起業家との「共創」によるものづくりを促進させる予定である。

志 KOKOROZASHI
Innovation Dojo

